



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本上下水道設計株式会社

コード番号 2325 URL <http://www.njs.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村上 雅亮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長

(氏名) 坂井 貴彦

TEL 03-5269-6510

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日

平成26年9月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	9,245	9.3	1,752	95.7	1,746	83.1	1,070	95.9
25年12月期第2四半期	8,460	9.9	895	△32.3	953	△30.2	546	△25.3

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 915百万円 (40.5%) 25年12月期第2四半期 651百万円 (△27.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	109.77	—
25年12月期第2四半期	56.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	24,055	16,640	16,640	16,640	69.2	1,707.04
25年12月期	20,972	15,919	15,919	15,919	75.9	1,633.11

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 16,640百万円 25年12月期 15,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年12月期	—	20.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,800	△2.4	1,120	28.3	1,170	21.2	670	30.5	68.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	10,048,000 株	25年12月期	10,048,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	300,032 株	25年12月期	300,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	9,747,968 株	25年12月期2Q	9,748,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策の効果などにより、企業収益が改善し設備投資の増加や雇用情勢の改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。

「水と環境のコンサルタント業界」を取り巻く経営環境は、顧客ニーズの高度化や低コスト化の要請を受け企業間競争が熾烈になるなど依然として厳しい状況が続いておりますが、震災復興関連事業や国土強靱化計画に関連した防災・減災対策や老朽化した社会資本の改築・更新業務等のインフラ整備事業の増加により、堅調に推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、海外業務で大型案件を相次ぎ受注したことなどにより受注高は8,556百万円（前年同期比43.0%増）となりました。連結売上高は、前期からの繰越業務が増加したことなどにより9,245百万円（同9.3%増）となりました。

利益面では、国内業務において売上高が増加したことに加え売上原価の削減に努めたことなどにより、営業利益は1,752百万円（同95.7%増）、経常利益は1,746百万円（同83.1%増）、四半期純利益は1,070百万円（同95.9%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(国内業務)

国内業務におきましては、社会インフラの災害対策や施設の老朽化対策の必要性が高まる状況にあって、当社グループは上下水道事業における「防災・減災・事業継続計画（BCP）」、アセットマネジメント・施設の改築更新、「環境・エネルギー」、「経営健全化に向けた事業支援」及び「情報システム」の5課題を重点営業課題に設定し、総合的な技術力を生かした様々なコンサルティングサービスを提供してまいりました。

この結果、受注高は4,154百万円（前年同期比5.0%増）、売上高は7,587百万円（同19.8%増）、営業利益は2,047百万円（同51.9%増）となりました。

(海外業務)

海外業務におきましては、新興国や途上国においてインフラ整備事業の需要が引き続き堅調で、イラク、バングラデシュ、パプアニューギニアなどにおいて大型案件を受注しました。

この結果、受注高は4,401百万円（前年同期比116.9%増）と大幅に伸長しました。売上高は1,607百万円（同22.6%減）、利益面では未成業務支出金評価損の計上等により288百万円の営業損失（前年同期は営業損失492百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して3,082百万円増加し24,055百万円となりました。この主な要因は、流動資産の現金及び預金の増加4,118百万円、受取手形及び完成業務未収入金の減少927百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して2,361百万円増加し7,414百万円となりました。この主な要因は、流動負債の未成業務受入金の増加2,297百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して720百万円増加し16,640百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加875百万円等であります。この結果、自己資本比率は69.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して4,118百万円増加し11,979百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4,392百万円(前年同期は3,328百万円の獲得)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,746百万円、受取手形及び完成業務未収入金の減少925百万円、未成業務受入金金の増加2,297百万円等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額368百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は52百万円(前年同期は65百万円の使用)となりました。

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出32百万円、無形固定資産の取得による支出19百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は194百万円(前年同期は214百万円の使用)となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額194百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年2月13日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,861,132	11,979,324
受取手形及び完成業務未収入金	1,331,119	403,959
未成業務支出金	3,876,846	3,616,653
その他	1,089,138	1,326,029
貸倒引当金	△16,609	△23,046
流動資産合計	14,141,627	17,302,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,229,933	1,199,168
土地	1,326,543	1,326,543
その他(純額)	61,202	58,879
有形固定資産合計	2,617,680	2,584,592
無形固定資産	107,028	108,507
投資その他の資産		
投資有価証券	2,229,284	1,994,088
その他	1,876,829	2,064,986
投資その他の資産合計	4,106,113	4,059,075
固定資産合計	6,830,822	6,752,175
資産合計	20,972,449	24,055,094

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
業務未払金	513,798	197,974
未払法人税等	371,189	844,523
未成業務受入金	1,703,981	4,001,607
賞与引当金	369,403	319,991
受注損失引当金	82,086	101,075
その他	801,111	749,739
流動負債合計	3,841,572	6,214,911
固定負債		
退職給付引当金	1,091,801	1,092,625
その他	119,601	107,357
固定負債合計	1,211,402	1,199,983
負債合計	5,052,975	7,414,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	520,000	520,000
資本剰余金	300,120	300,120
利益剰余金	14,991,745	15,866,847
自己株式	△398,979	△398,979
株主資本合計	15,412,885	16,287,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	519,875	368,676
為替換算調整勘定	△13,286	△16,465
その他の包括利益累計額合計	506,588	352,211
純資産合計	15,919,474	16,640,199
負債純資産合計	20,972,449	24,055,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	8,460,105	9,245,795
売上原価	6,163,858	5,846,969
売上総利益	2,296,246	3,398,826
販売費及び一般管理費	1,400,547	1,646,070
営業利益	895,699	1,752,755
営業外収益		
受取利息	7,212	9,714
受取配当金	14,384	15,628
為替差益	28,469	—
その他	8,143	7,278
営業外収益合計	58,209	32,622
営業外費用		
為替差損	—	38,833
営業外費用合計	—	38,833
経常利益	953,908	1,746,544
特別損失		
損害賠償金	38,747	—
その他	368	387
特別損失合計	39,115	387
税金等調整前四半期純利益	914,793	1,746,156
法人税、住民税及び事業税	514,614	822,209
法人税等調整額	△146,040	△146,115
法人税等合計	368,574	676,094
少数株主損益調整前四半期純利益	546,219	1,070,061
四半期純利益	546,219	1,070,061

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	546,219	1,070,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95,876	△151,198
為替換算調整勘定	9,672	△3,178
その他の包括利益合計	105,548	△154,377
四半期包括利益	651,768	915,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	651,768	915,684
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	914,793	1,746,156
減価償却費	50,738	56,322
受取利息及び受取配当金	△21,597	△25,343
為替差損益 (△は益)	△34,343	40,706
受取手形及び完成業務未収入金の増減額 (△は増加)	766,547	925,307
未成業務支出金の増減額 (△は増加)	514,149	260,193
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△564	7,129
業務未払金の増減額 (△は減少)	△135,700	△315,810
未成業務受入金金の増減額 (△は減少)	1,847,297	2,297,806
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△100,564	△49,412
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	93,018	18,988
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△27,499	823
その他	△136,937	△230,756
小計	3,729,338	4,732,111
利息及び配当金の受取額	21,652	24,171
法人税等の還付額	—	4,516
法人税等の支払額	△422,394	△368,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,328,596	4,392,559
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,353	△32,564
無形固定資産の取得による支出	△25,027	△19,765
貸付けによる支出	△2,400	△1,170
貸付金の回収による収入	—	1,110
その他	△10,019	△160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,801	△52,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△214,091	△194,517
その他	△381	△381
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,472	△194,898
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,778	△26,919
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,046,545	4,118,191
現金及び現金同等物の期首残高	8,173,769	7,861,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,220,314	11,979,324

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内業務	海外業務	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,326,617	2,077,337	8,403,955	56,149	8,460,105	—	8,460,105
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,054	530	6,584	—	6,584	△6,584	—
計	6,332,671	2,077,867	8,410,539	56,149	8,466,689	△6,584	8,460,105
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	1,348,086	△492,139	855,947	25,059	881,006	14,693	895,699

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内業務	海外業務	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,587,555	1,606,496	9,194,052	51,743	9,245,795	—	9,245,795
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	850	850	—	850	△850	—
計	7,587,555	1,607,346	9,194,902	51,743	9,246,645	△850	9,245,795
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	2,047,172	△288,678	1,758,493	22,398	1,780,892	△28,137	1,752,755

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。